

「履歴書」作成の手引き

1. 「氏名」の欄については、印鑑登録証明書（印鑑登録証明書を有さない者については、旅券（パスポート））と同じ氏名を記入してください。なお、旧姓等の通称名を使用している場合は（ ）書きで本名を併記してください。
（記載例：通称名が山田太郎、本名が田中太郎の場合・・・【山田（田中）太郎】）
2. 「生年月日（年齢）」の欄の年齢には、**令和7年4月1日時点**の満年齢を**和暦で**記入してください。
3. 「現住所」欄には、郵便番号と現住所を都道府県名から正確に記入してください（アパート、マンション等名含む）。
4. 「電話番号」欄、「e-mailアドレス」欄には連絡可能な電話番号と電子メールアドレスを記入してください。
5. 「学歴」の欄について
 - ① 大学若しくは高等専門学校又はこれらと同等以上と認められる学校卒業以上の学歴（大学の別科及び専攻科を含む。）を有する場合、すべての学歴（授与された学位及び称号を含む。）を入学年月も含めて**和暦で**記入し、それ以外の場合には、最終学歴を記入してください。
なお、博士課程において所定の単位を取得し博士の学位を授与されないまま退学した場合には、「博士課程単位取得後退学」と記入してください。
 - ② 学位については、**付記された専攻分野の名称及び学位論文の題目**を併記してください。
例. 「工学修士」、「修士（工学）」、「工学士」、「学士（工学）」など
なお、平成3年7月以降に授与された学位は「博士（〇〇）」、「修士（〇〇）」、「学士（〇〇）」となります。
 - ③ 医師、歯科医師、薬剤師、看護師、教員等の資格についても記入してください。この場合、登録番号等も併記してください。外国における資格にあっては、正確に記入するとともに、その資格の内容を日本語で併記してください。
 - ④ 学生としての外国の大学や研究機関等への留学歴についても記入してください。
 - ⑤ 外国の大学等の経歴を記載する場合は、大学等の名称や学位等はアルファベットとカタカナを併記し、国名を必ず記載してください。職歴についても同様に扱ってください。

《記入例》

学 歴	
年 月	事 項
昭和 58 年 4 月	〇〇大学工学部△△学科 入学
昭和 62 年 3 月	〇〇大学工学部△△学科 卒業（工学士）
昭和 62 年 4 月	〇〇大学大学院工学研究科△△学専攻修士課程入学
平成元年 3 月	〇〇大学大学院工学研究科△△学専攻修士課程修了（工学修士）
平成元年 4 月	〇〇大学大学院工学研究科△△学専攻博士課程入学
平成 4 年 3 月	〇〇大学大学院工学研究科△△学専攻博士課程修了 博士（工学）（〇〇大学） 学位論文題目「～～と・・・に関する相互作用の研究」

6. 「職歴」の欄について

- ① すべての職歴（自営業，主婦，無職等を含む。）を和暦にて時系列で記入するとともに，職名，地位等についても明記してください。
- ② 各職歴について在職期間を明確にし（行末のカッコ内に終了時の年月を和暦で記入），現職については終了時の年月の代わりに（現在に至る）と記入してください。
- ③ 研究者としての外国の大学や研究機関等への留学歴についても記入してください。
- ④ 大学教員の職歴については，主な担当授業科目を行末に「 」で併記してください。
例．横浜国立大学大学院工学研究院教授（現在に至る）「〇〇論」

《記入例》

職 歴	
年 月	事 項
平成元年 4 月	横浜国立大学工学部非常勤講師（平成元年 9 月まで）「△△工学Ⅰ」
平成 4 年 4 月	横浜国立大学工学部講師（平成 6 年 3 月まで）「〇〇論」
平成 6 年 4 月	横浜国立大学工学部助教授（平成 13 年 3 月まで）「〇〇論」
平成 13 年 4 月	横浜国立大学大学院工学研究院助教授（平成〇〇年 3 月まで）「△△力学Ⅰ」
平成 19 年 4 月	横浜国立大学大学院工学研究院教授（現在に至る）「△△力学Ⅰ」

7. 「学会及び社会における活動等」の欄について

- ① 「現在所属している学会」には，書類提出時点において所属する学会の名称を記入してください。
- ② 学会及び社会における活動等のうち，専攻や研究分野等に関連する事項を記入してください。
- ③ 「事項」には，現在所属している学会と過去に所属していた学会のすべてについて，会員又は役職名を時系列で和暦で記入してください。
また，現在委嘱を受けている委員会等と過去に委嘱を受けた委員会等のすべてについて，委員又は役職名を記入してください。
なお，いずれの事項も，在職期間を明確にし（行末のカッコ内に終了時の年月を和暦で記入），現職については終了時の年月の代わりに「現在に至る」と記入してください。
- ④ 教育研究上の業績を有する場合，その内容を具体的に記入してください。

《記入例》

学 会 及 び 社 会 に お け る 活 動 等	
現在所属している学会	日本〇〇学会，日本△△学会，□□学会，神奈川県〇〇協会
年 月	事 項
平成 14 年 6 月	日本〇〇学会 会員（現在に至る）
平成 14 年 6 月	静岡県〇〇協会 会員（現在に至る）
平成 15 年 4 月	日本△△学会 会員（現在に至る）
平成 16 年 1 月	日本××学会 会員（平成 17 年 12 月まで）
令和 2 年 4 月	神奈川県〇〇協会 委員（令和 3 年 3 月まで）
令和 3 年 4 月	☆☆市☆☆委員会 委員（令和 4 年 3 月まで）
令和 4 年 9 月	□□学会 会員 委員（令和 5 年 3 月まで）
令和 5 年 4 月	神奈川県〇〇協会 幹事（現在に至る）

8. 「賞罰」の欄について

- ① 学会や出版社からの表彰や職務上の表彰や懲戒処分，研究費の不正受給に係る処分等を記入してください。
- ② 上記等の事項がない場合は，年月欄は無記入にし，事項欄に「なし」と記入してください。

9. 「現在の職務の状況」の欄について

①

- ア 「現在の職務の状況」の欄には、書類提出時点における職務の状況について記入してください。
- イ 「職名」については、大学等の教員の場合は、『教授』『准教授』等の職位を記入してください。それ以外の職に従事している場合は、『取締役』『理事』等の職名を記入してください。職名が無い場合は『-』を記入してください。
- ウ 勤務状況については、**大学等の教員の場合は、担当授業科目を記入してください。**それ以外の職に従事している場合は、職務の内容を簡潔に記入してください。

《記入例》

現在の職務の状況			
勤務先	職名	学部等又は所属部局の名称	勤務状況
横浜国立大学	助教	理工学研究院	(理工学府) 高速気体力学, 機械システム工学演習Ⅰ, 機械システム工学演習Ⅱ, 機械システム工学中核人材育成インターンシップ, 機械システム工学学外実習 (理工学部) 力学演習Ⅱ, 熱力学Ⅰ, 熱力学Ⅱ, 卒業研究 (教養教育科目) エネルギー工学序論

右の「勤務状況」での授業科目の記載は学部と大学院では区分して記載してください。

- 10. 「氏名」の欄は、印鑑登録証明書（印鑑登録証明書を有さない者については、旅券（パスポート））と同じ氏名を本人が自署のうえ、押印してください。なお、旧姓等の通称名を使用している場合は（ ）書きで本名を併記してください。
（記載例：通称名が山田太郎、本名が田中太郎の場合・・・【山田（田中）太郎】）
- 11. 当該教員が外国人である場合、母国語により記入して差し支えありません。この場合、訳文を添付してください。
- 12. 日付は、書類提出日とします。